

We are the User Experience Company.



iid Press

株主通信「イードプレス」

19

第19期

2018年6月期
(2017.7.1~2017.12.31)

上半期報告書



株主の皆さまへ

TOP MESSAGE

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2018年6月期は、「再成長に向けた今期方針」(2017年8月10日公表)を掲げ、主にコンテンツマーケティングプラットフォーム事業(CMP事業)におけるメディア事業の再成長に向けた取り組みに注力してまいりました。その結果、上半期では売上は堅調、営業利益は大きく改善し、前年実績、計画値とも大幅に上回る業績となりました。

メディア運営力を活かしたBtoBビジネスの拡大においては、ディスカバリーチャンネルや和美人百貨店の運営を開始するなど、着々と再成長に向けた取り組みを遂行しております。また自動運転やEVなど第5次モビリティ革命の新規事業を支援するアクセラレーターとして立ち上げた「iid 5G Mobility」では、株式会社ブロードバンドタワーとの協業に続き、ナイル株式会社との業務提携など、新たな事業領域の取り組みを進めております。

さらに、2017年12月にお金に関する情報サイト「マネーの達人」を事業取得し、仮想通貨が注目されるマネー領域にも進出しております。今後マネー領域につきましては、注力すべきジャンルとして積極的に投資を行ってまいります。

私たちは現在専門ジャンルに特化した50近いメディア・コンテンツを運営しておりますが、ポートフォリオの充実と業界領域の拡大に向けて、これまでのM&A戦略とともに新規メディア・コンテンツの開発にも取り組んでまいります。

今後とも引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



株式会社 イード 代表取締役 宮川 洋

Contents Marketing Company

イードは、Webメディア運営会社の旧IRI-CTと、マーケティングリサーチ会社の旧イードが合併して生まれたコンテンツマーケティングカンパニーです。

インターネットを活用した企業のマーケティング支援事業を軸に、すべてのステークホルダーにとって最高のUXを提供できるよう挑戦し続けています。

■イードの事業概況：2つのセグメントにて事業を展開しています



Contents

株主・投資家の皆さまへ	1	特集	5
イードの事業概況	2	会社概要・株主の概況	9
2018年上半期業績ハイライト	3		

2018年上半期 業績ハイライト

- ・CMP事業、CMS事業ともに売上高は堅調
- ・営業利益は、CMP事業の回復により前期比188.1%と大幅改善

連結				CMP				CMS			
	上半期	前年同期	前期比		上半期	前年同期	前期比		上半期	前年同期	前期比
売上高	2,254	2,204	102.3%	売上高	1,881	1,866	100.8%	売上高	443	404	109.8%
営業利益	121	64	188.1%	営業利益	117	54	215.9%	営業利益	9	25	35.5%
営業利益率	5.4%	2.9%	+2.5pt	営業利益率	6.3%	2.9%	+3.4pt	営業利益率	2.1%	6.4%	△4.3pt

(百万円)

2018年上半期 進捗状況

- ・上半期の営業利益は前年同期比88.1%増加、計画も大幅に上回りました
- ・ビジネス環境の変化等を考慮し、現時点において通期業績予想は据え置く

当上半期は売上高が2,254百万円(前年同期比2.3%増加)、営業利益は121百万円(前年同期比88.1%増加)、経常利益は127百万円(前年同期比97.2%増加)、当期利益は61百万円(201.9%増加)となりました。

CMP事業におきましては、データ・コンテンツ提供売上高851,148千円(前年同期比5.4%増加)、メディア・システム売上高256,008千円(前年同期比22.5%増加)などによる売上増、加えてコスト削減が想定以上に進み、営業利益は計画値を大きく上回りました。今後も引き続き、メディア運営力を活かした企業に対するメディア運営支援の強化、ECサイトの運営受託等のB2Bビジネスの拡大を図ってまいります。

なお、通期の業績予想につきましては、平成29年8月10日に公表しました内容に変更はございません。当社が属する事業領域におけるビジネス環境の変化等を考慮し、前回の業績予想を据え置いております。

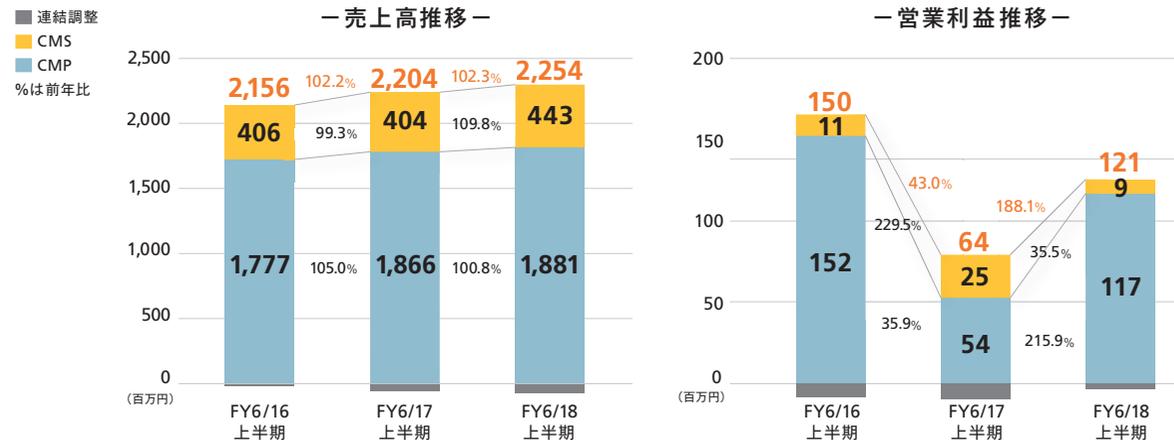
	FY6/18 上半期	FY6/18 上半期		FY6/18 通期	
	実績	計画	計画比	通期計画	進捗率
売上高	2,254	2,179	103.5%	4,401	51.2%
営業利益	121	44	274.9%	110	110.7%
経常利益	127	45	281.7%	110	116.0%
当期純利益	61	17	359.1%	50	123.0%

※当期純利益とは親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益のことです。

(百万円)

2018年上半期 セグメント別売上高、営業利益の推移

- ・CMS事業の売上高は、大型海外リサーチ案件の増加により堅調
- ・CMP事業の営業利益は、コスト削減が想定以上に進み、前期比215.9%とV字回復



2018年上半期 貸借対照表

- ・純資産合計は利益剰余金、自己株式の取得による増減で前期末より7百万円減少

当上半期末における総資産は3,811百万円(前期末比96百万円増加)となりました。これは主に受取手形及び売掛金が35百万円増加したこと、のれんが45百万円増加したこと等によるものです。

負債総額は1,217百万円(前期末比104百万円増加)となりました。これは主に、子会社における短期借入金が増加したこと、子会社における長期借入金が増加したこと等によるものであります。

純資産合計は2,594百万円(前期末比7百万円減少)となりました。これは主に、自己株式の取得により99百万円減少した一方で、利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

	FY6/18 上半期末	FY6/17 通期末	前期末比 増減額
流動資産	2,995	2,975	20
現金及び預金	1,771	1,795	-24
固定資産	815	739	76
のれん	222	176	45
資産合計	3,811	3,715	96
流動負債	1,107	1,009	97
固定負債	110	103	7
負債合計	1,217	1,112	104
株主資本	2,515	2,541	-26
利益剰余金	888	827	61
自己株式	-99	-	-99
純資産	2,594	2,602	-7
負債・純資産	3,811	3,715	96

(百万円)

「iid 5G Mobility」の取り組みについて

2017年8月にリリースしたイード第5次モビリティ革命を支援する、自動車特化型アクセラレーター「iid 5G Mobility」について、リリース以降の取り組みをご紹介します。

ナイル株式会社と業務提携 2018年1月よりマイカー賃貸サービス『カルモ』で商品・サービス開発支援 ～iid 5G Mobility アクセラレーション”所有から利用へ”モビリティ環境の変化を先取り～

2018年1月26日、『iid 5G Mobility』のビジネスパートナーシップの一環として、ナイル株式会社との業務提携により、気軽に月額定額料金で新車の保有を可能にするマイカー賃貸サービス『カルモ』の提供を開始しております。

『カルモ』は、近年急速に普及しつつある個人向けカーリースの一形態として、独自の工夫を加えた新しいカーライフの提案事業です。『iid 5G Mobility』では自動車の所有にこだわっていた日本の消費者が、利用期間を定めたリース契約を選択する層が増えてきたことに注目しています。車種の選定から審査申込手続きまで、すべてスマートフォンで完結するサービス体験は、新しい自動車ユーザー層を開拓することが期待できます。イードではレスポンス上で利用者や運営者の声を伝えるなど、『カルモ』に対するマーケティング支援・サービス開発支援を積極的に行ってまいります。



iid 5G Mobility

ブロードバンドタワーと 5Gデータセンターの活用で協業を開始

株式会社ブロードバンドタワーが開設予定の5Gデータセンターにおいて協業を開始いたします。

ブロードバンドタワーは、都市型インターネット・データセンターとして2000年の創業以来インターネット・インフラを活用する事業者向けの情報通信インフラを提供してきました。同社では業界に先駆けて、2018年8月に「千代田区新データセンター(仮称)」を開設する予定です。5Gデータセンターは、5Gモバイル通信などIoTに対応したデータセンターで、超高速(10Gbps)・超低遅延(1msec)・超多地点同時接続(100万点/km²)仕様に対応し、日本の情報通信産業の発展を加速するものと期待されています。

両社は2020年の自動運転技術、電気自動車(EV)、5Gモバイル通信などの実用化を見据えた、5Gデータセンターの活用や、『iid 5G Mobility』の展開を共同で推し進めてまいります。

お金に関する情報サイト「マネーの達人」を事業取得

▶ <https://manetatsu.com/>

200人以上のマネー専門家・知識人が幅広い分野の マネースキルを学べるコラムやレポートを執筆するメディア

2017年12月より、お金に関するメディア「マネーの達人」の事業を取得し、運営を開始しております。

「マネーの達人」は経済ジャーナリストの荻原博子氏や経済評論家の山崎元氏をはじめ200人以上のマネー専門家・知識人が、保険、住宅、不動産、貯金、家計、節約、年金、税金、投資、相続、介護、葬儀など幅広い分野のマネースキルを学べるコラムやレポートを執筆するメディアで、2012年の開設以来順調な成長を遂げ、現在では月間180万人を超える利用者を誇ります。また、大手ポータルサイトやニュースアプリなどにも記事を配信するなど、高い評価を受けています。

イードにマネー領域のメディアが加わるのは今回が初めてです。普遍的なニーズがあり、かつ信頼性の高い情報が求められるマネー領域に、イードがこれまで培ってきたメディア運営、グロスノウハウを組み合わせることで、より魅力的なメディアに成長させてまいります。「マネーの達人」の運営開始を機に、今後マネー領域は注力ジャンルとして積極的に投資を行ってまいります。

編集長 北山秀輝コメント:「お金に関する情報格差を埋めること」を目指し、今後も読者に情報をお届けしていきます。



お金の達人に学び、マネースキルをUP!
マネーの達人

複数のメディア運営支援をスタート

メディア運営力を活かしたB2Bビジネス拡大の一環として、企業のメディア運営支援を複数スタートしています。



ディスカバリーチャンネル

世界最大級のネットワークを持つ「ディスカバリーチャンネル」を運営するディスカバリー・ジャパン株式会社が、2017年10月17日より運営を開始したデジタル版「ディスカバリーチャンネル」の立ち上げから運営までをサポートしています。



和美人百貨店

株式会社世界文化社刊行の「家庭画報特選 きものSalon」の公式通信販売サイト「和美人百貨店」の運営を受託し、「marbleASP」でサイトを構築しました。商品仕入れ(MD)、発送業務などの通販事務局機能の業務も行っています。

メディアと連携した有料セミナー事業をスタート

各業界を深掘りするビジネス開発の一環として、有料でのセミナー事業を開始しています。当初は自動車カテゴリにおいて「レスポンス」と連携し、自動運転、AI、5Gなどをテーマに有識者を招聘、定期的にセミナーを開催しておりますが、現在では教育分野にもテーマを広げるなど、今後も自動車以外の分野にも注力してまいります。

約100名の参加者を集めた
「レスポンスセミナー 5Gとモビリティ革命」
(2017年9月20日)



絵本ナビとNTTドコモが市販なぞなぞ本の読み放題サービス「なぞなぞ for dキッズ」を提供開始



「なぞなぞ for dキッズ」では、一冊あたり約300~2,000問の「なぞなぞ」が収録された「なぞなぞ本」の電子書籍11冊を読み放題で提供しています。「なぞなぞ本」では未就学児(3~5歳)や小学1年生、小学2年生向けのクイズ内容をご用意しており、そのほかに小さいお子さまでも楽しめるかんたんな知育〇×クイズもあります。知育〇×クイズは、生活習慣や数の概念などの知育要素を遊びながら学べます。

EhonNavi
Picture Books for Happiness



エンファクトリーがエムオン・エンタテインメント「DIGIMONO!」の新たな展開「d.365」「d.STORE」などを一括で支援

▶ <http://www.digimonostation.jp>

株式会社エムオン・エンタテインメントの「DIGIMONO!」を、新ライフスタイルWEBメディア「d.365」としてリニューアルするに際して、企画・ディレクション~デザイン~開発~リリースまでを一貫して支援しました。今後は「d.365」に加えて、ユーザーが興味を持ったものを直接購入できるECサイト「d.STORE」を始めとしたさまざまな展開をサポートしていきます。

ef en Factory



ネイティブが地方創生・地域活性ビジネスなどに特化したオウンドメディア「NATIV.(ネイティブ)」をオープン

▶ <http://www.nativ.co.jp>

「NATIV.(ネイティブ)」は地域に関わるユニークで、チャレンジングなビジネスやプロジェクトに特化した、日本初の地方創生・地域活性業界メディアです。地方創生・地域活性をブームではなく新しい業界として形づくっていくことを目的に、次代を担う世代や優秀な人材が目指す、挑戦したくなる機会を提案していきます。

NATIV.



会社概要

会社名	株式会社イード (IID, Inc.)
設立	2000年4月28日
所在地	〒163-0228 東京都新宿区西新宿2丁目6-1 新宿住友ビル28階
資本金	868,501千円
事業内容	メディア事業 リサーチ事業 メディアコマース事業
従業員数	単体129名 / 連結208名
子会社	Interface in Design, Inc. 株式会社エンファクトリー 株式会社泰文堂 株式会社絵本ナビ 株式会社ドリームリンク ネイティブ株式会社



役員

代表取締役	宮川 洋
取締役	須田 亨
取締役○	今川 聖 (エキサイト株式会社 代表取締役社長)
取締役○	大和田 廣樹 (株式会社ブロードバンドタワー 取締役)
取締役○	吉崎 浩一郎 (株式会社グロース・イニシアティブ 代表取締役)
監査役	山中 純雄 (常勤監査役)
監査役○	岡田 智雄 (元ニフティ株式会社 代表取締役社長)
監査役○	安達 美雄 (元株式会社大塚商会執行役員)

○ = 社外役員

株主の概況

発行可能株式総数	8,000,000 株
発行済株式の総数	4,993,900 株
株主数	2,109 名

■大株主の順位

順位	大株主名	株式数	持株比率
1	エキサイト株式会社	706,900	14.15%
2	株式会社三越伊勢丹イノベーションズ	653,100	13.07%
3	株式会社博報堂DYメディアパートナーズ	517,700	10.36%
4	株式会社マイナビ	400,000	8.00%
5	インスパイア・テクノロジー・イノベーション・ファンド 投資事業有限責任組合	323,800	6.48%
6	株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント	240,000	4.80%
7	電通デジタル投資事業有限責任組合	200,000	4.00%
8	工木 大造	131,100	2.62%
8	宮川 洋	122,000	2.44%
10	吉野 弘彦	90,900	1.82%

株式についてのご案内 (株主メモ)

上場市場	東京証券取引所 マザーズ
証券コード	6038
事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年事業年度終了後3ヶ月以内
株主確定基準日	毎年6月30日
株式の売買単位	100株
公告掲載方法	電子公告により行います。公告掲載URL: http://www.iid.co.jp/company/koukoku やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
連絡先・郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL: 0120-232-711 (フリーダイヤル)



iid Press

株主通信「イードプレス」

2018年6月期
(2017.7.1~2017.12.31)

上半期報告書

株式会社イード

(証券コード 6038)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報や判断に基づくものであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、その内容の正確性及び確実性を保証するものではありませんことをあらかじめご了承ください。本資料に掲載されている各セグメントの数値はセグメント内に連結調整を反映する前の数値です。

IRサイトのご案内

イード IR

検索

<http://www.iid.co.jp/ir/>